

駐日韓国大使館 韓国文化院 X 東京工芸大学共同企画
Challenge Art in Japan 2021
東京工芸大学芸術学部韓日学生展
開催のご案内

駐日韓国文化院では、才能豊かな若手の新人作家の発掘、及び韓日両国の美術交流の拡大を目的に、日本で美術を学んでいる韓国人留学生を激励し、作品展示の機会を提供するための「Challenge Art in Japan」を2012年から毎年開催し、今年で9年目を迎えました。

本展は日本で美術を学んでいる韓国人留学生の作品を主に展示をしてきましたが、**若い世代の交流を促進する新たな試みとして**、2016年から東京造形大、学校法人文化学園文化学園大学、多摩美術大学、東京藝術大学などとの共同企画により、**国籍を超えて同じ学校で美術を学び、お互いを支え合う韓国人留学生と日本人学生の作品を一緒に展示し**、好評をいただきました。

9回目にあたる今回は、東京工芸大学芸術学部在籍する韓国人留学生とそのOBや日本人学生の交流展を開催します。本展覧会では写真学科、デザイン学科、アニメーション学科、マンガ学科、インタラクティブメディア学科、映像学科、ゲーム学科に在籍・卒業した作家17名の作品を展示します。この展覧会は韓国と日本の前途有望な学生が作家として活躍できる足がかりとし、韓国と日本の文化交流がより深まることを目的としています。

つきましては、本イベントの周知にご協力いただけますようお願いいたします。

資料のご依頼、取材のお申し込みは、韓国文化院(03-3357-5970)までご連絡下さいますようお願い申し上げます。

【イベント概要&情報】



■会期：2021年11月11日(木)～12月7日(火) 10:00～17:00

※休館日：日曜日及び祝日

※オープニング・セレモニー：11月11日(木) 19:00～

■会場：韓国文化院ギャラリーMI(1F)、サランバン(4F) ◆入場無料

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-4-10

・アクセス：地下鉄メトロ丸ノ内線「四谷三丁目駅」

一番出口より新宿方面徒歩3分

■出品作品：東京工芸大学芸術学部在籍する韓国人留学生とそのOBや日本人学生、合わせて17名の写真、映像、デザイン、インタラクティブメディア、アニメーション、ゲーム、マンガ作品の展示

■主催：駐日韓国大使館 韓国文化院、東京工芸大学

◀ お問い合わせ：河(ハ)、趙(ジョ) ☎03-3357-5970 ✉postmaster@koreanculture.jp ▶

【オープニング・セレモニーについて】

本展示会の出品作家、及び指導されている先生を含め、関係者が参加する開幕式を行います。

※コロナウイルス感染防止対策として飲食の用意はございませんので、ご了承ください。

- ・日時：11月11日（木）19:00～20:00
- ・場所：駐日韓国文化院ギャラリーMI（1F）

※お申し込みは不要です。

【本企画について】

写真から100年、メディア芸術で飛躍へ

このたび、東京工芸大学芸術学部にて在籍する韓国人留学生とそのOBや日本人学生合わせて17名の作品をご紹介します。東京工芸大学は2023年に創立100周年を迎えます。写真の技術（工学）と表現（芸術）を融合しながら進化してきた100年、その融合の精神はメディア芸術表現として芸術学部のなかで継承されてきました。

写真、映像、デザイン、インタラクティブメディア、アニメーション、ゲーム、マンガの7つのメディア分野において自記研鑽の成果をお披露目できることを大変嬉しく思います。韓日国交正常化56年目の晩秋、韓国と日本の若い作家の皆さんの作品に触れてもらい、明るく開かれたメディア芸術表現の未来を楽しんでいただけますことを願っております。

【参加作家：韓国作家11名、日本作家6名、計17名】

写真学科	菅谷実穂(3年)、イ・ソンイ(3年)、 オ・ジェウン(OB, 現東京藝術大学大学院博士課程)
映像学科	今菜月 (3年)
デザイン学科	キム・キュリ(3年)、パク・ヘジン(3年)、ソ・ミンギョン(3年)、 キム・ジナ(2年)、キム・チョウオン(2年)
インタラクティブメディア学科 (IM学科)	村松沙也伽 (4年)、吉田諒人 (4年)
アニメーション学科	イム・ヒョン(4年)、キム・ソヒョン(1年)
ゲーム学科	アン・チャンジュ(4年)
マンガ学科	田中幸(4年)、吉田政紀(3年)、イ・ユソク(3年)



【展示準備中の風景】

「お問い合わせ」 駐日韓国大使館 韓国文化院 TEL 03-3357-5970 www.koreanculture.jp
担当 河 / 趙 TEL 03-3357-5970 postmaster@koreanculture.jp